

中原区区民会議課題調査部会 検討シート

検討テーマ「まちの魅力を見つける」

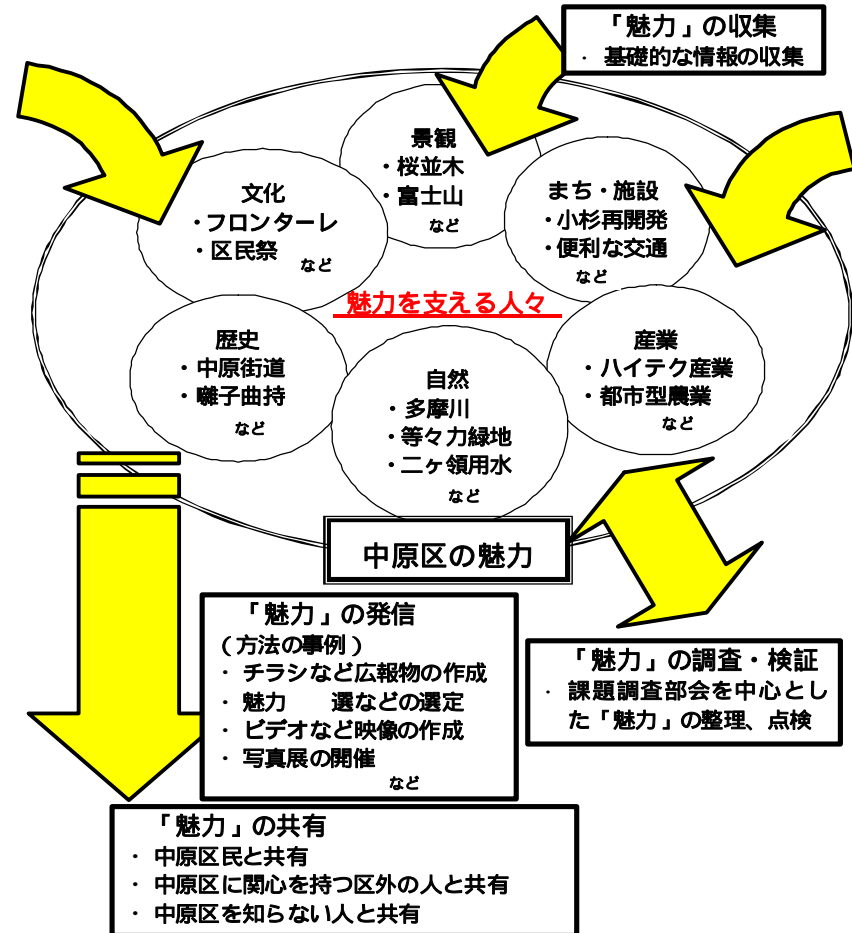
<ゲスト：中山博夫氏のお話の要旨>

【魅力を考える視点】

魅力は年齢層又は本人の生き様によって変わる
 魅力を尋ねる時には、「 な魅力」といった設問を設けることにより考えやすくなる
 中原区内には魅力が沢山ある
 小さな・細やかな魅力（資料）にこそ楽しみがある

「魅力」は人それぞれ異なる。いつ、どこで、誰が決定したかが重要となり、今回、区民会議が決定することに意義がある。

「まちの魅力を見つける」審議進行イメージ



【委員の意見・提案（区民会議の議論より）】

- <地域の中で大切に守り、次世代に残し伝えていきたい魅力>
 - 多摩川の自然 二ヶ領用水と桜・桃並木 井田山・市民健康の森 中原街道と周辺の歴史的遺産 郷土芸能（新城神社の囃子曲持等） 地域の祭礼 住みよい街（あいさつのできる街）
 - 中原には多くの街道が通っている。中原街道や綱島街道などの街道があったからこそ、現在の中原の発展につながったと認識している。
 - 二ヶ領用水の桜並木や井田山の自然などは自分が子どもの頃からの環境が引き継がれ現在も残っている。よい環境を次世代に残していきたい。
- <中原区を訪れる区外の方々にアピールしたい魅力>
 - 等々力緑地一帯 小杉駅周辺再開発地区 江川せせらぎ遊歩道 川崎七福神めぐり 平坦な地形でどこへでも自転車で移動できる 都市型農業の展開（パンジー・シクラメン・野菜・梨）
 - 地形が平坦で、自転車でどこまでも移動できるということに魅力を感じている。区制 30 周年記念に作成した「この街のどこが好き？」という曲には、中原の魅力が沢山出てくる。中原の魅力発信に活用すべきである。
 - 中原区には、物凄く多くの魅力が存在している。中原区に、現在無い観光ガイドが立ち上げれば、区外の方などにも広く中原区の魅力発信できる。
- <中原区のお気に入りの場所または思い出の場所>
 - 多摩川の河川敷（サイクリングロード） 等々力緑地一帯 二ヶ領用水・渋川での花見 春日の森（常緑樹の森） 丸子温泉 西明寺参道の仁王門 丸子橋や多摩川堤からの富士山の景色
 - 中原区を歩いてみると写真を撮るのに素晴らしいところが沢山ある。仲間と写真を撮るのを楽しみにしている。
 - 子どもと徒歩で行ける 10 分圏内の所に大小の公園がある。公園は子ども達にとって交流の場であり、これからも大切にしていきたい。また、区民会議で得られた様々な魅力情報を地域での活動を通じて発信していきたい。
- <中原区の自慢に思うもの>
 - 交通の便が良いこと 平和公園と平和館 川崎フロンターレの活躍 学校や企業等のプラスバンドなどの音楽資源 ハイテク工場群が集中していること 医療施設が沢山あること 子育てサロン（地域コミュニティの場）の充実
 - 中原区には、学校、企業、アマチュアのプラスバンドやオーケストラがあり音楽資源に恵まれたまちである。それらを活用した「音楽のまち・なかはら」を推進していきたい。
 - 中原区には、等々力工業会など小さな工場でも、日本の先端産業を支えるような高度な技術力を持った企業が沢山ある。

【魅力を発信するにあたっての課題・検討事項】

- 中原区を観光地にする訳ではないので、他の地域に比べて中原区が良い所だというよりも、自分たちがこんなに中原が好きで、誇りに思っているということを共有することが大切である。
- 素晴らしいものがあったとしても、気持ちに余裕がないと、魅力的なものが目に入ってこないし、感じられない。受け取る側の気持ちをどのようにしたらよいか検討する必要がある。
- 魅力を支えている人々にスポットをあてることで、魅力の発信に役立てたらどうか。

選定した魅力に漏れや偏りはないか

【魅力の発信・共有方法】

- 今回は中原の魅力や歴史などを多くの人に知ってもらいたい良い機会であると思う。中原の魅力をまとめて、魅力スポットなどを大々的にPRしたらどうか。
- 新しく中原区に住むことになる人は、みんな区役所に行くので、区役所で魅力スポットの写真展などを開催し、まちの魅力を紹介したらどうか。

魅力をどのように知らせるか
 どのように魅力に気がつかせるか

【課題に対する取り組みの方向性】

- 区民会議が「魅力を集めている」というメッセージを発信することにより、考えたことがない人が魅力を考えるきっかけになればいい。
- 魅力は時代とともに変わる。今回は、第 2 期区民会議でベストの魅力を選ぶことでよい。
- 魅力を知ることによってまちへの愛着が沸き、それがボランティア活動につながってくるようだと素晴らしいまちになっていくのではないかと。